

第 3 回 札幌市学校適正配置検討懇談会 次第

日時：平成17年4月27日（水）

午前9時30分から

場所：札幌市教育委員会

6階 A・B会議室

1 開会

事務局職員の人事異動に伴う紹介他

2 議事

(1) 第2回懇談会の議事内容について（確認）・・・資料1

(2) 統合の効果検証について

ア 学校統合に関するアンケート結果について・・・資料2

イ 資生館小学校の児童の様子などについて（鈴木校長から）

ウ 協議

(4) 第4回懇談会の内容等について

3 第4回懇談会日程等について

4 閉会

（配布資料）

資料1 第2回懇談会で出された主な意見と質疑応答（要旨）

資料2 学校統合に関するアンケート結果

資料3 札幌市学校適正規模検討懇談会意見提言ダイジェスト

（※第2回会議で配布したものと同様です。）

札幌市学校適正配置検討懇談会事務局 （札幌市教育委員会総務部配置計画担当課） 電話 211-3836 FAX211-3837 E-mail haichikeikaku@city.sapporo.jp
--

第2回懇談会で出された主な意見と質疑応答(要旨)

項目	ご意見	対応・主にその項目について検討する回
きめこまやかな教育について	統合前の小規模校の学校で、いわゆる教育上のきめ細やかさといったようなものを経験済みの保護者は、統合後もそのきめ細やかさを継続してほしいという要望は強いのではないかと想定されるため、少人数指導ということについて議案に含んだらどうか。	「きめこまやかな教育」というテーマを第5回に盛り込む。 第5回懇談会「きめこまやかな教育」で検討
	小規模校における、いながらにしての少人数の指導と、児童数、教員数が確保された上での少人数指導というのは、ちょっと質が違うのではないか。	
	わずかな人数の中での少人数指導には、ある程度限界があるのではないか。	
	統合されたことによって児童の人数がふえ、そして教員数が確保された上で、指導内容や方法の工夫がされたうえで教育効果というのは、小規模の時とはまた違うものが期待される。	
	適正規模を考える場合、これからの教育システムなど、いろいろなことがリンクしてくるわけであり。例えば、個に応じたきめ細やかな指導の充実ということになると、現在は適正な規模であると言われる学校であっても、そういった教育を施すとすれば、教員数は間違いなく足りていないと思う。	
特別支援教育ということできちっとした、対応がなされるとすれば、現状では教員数が全く足りないということが言えるのではないか。		
部活動に関すること	部活動については、小規模校では、教員が少ないため、子どもたちが希望している部が成り立たないという状況も生じている。	第4回懇談会「中学校の適正規模・適正配置」で検討
	中学校の部活で、そのスポーツに関して余り知識がない方が指導を行うとなかなかうまくいかない場合がある。やはり、その競技を経験されている方が週一回でも指導を行うと先生の負担も非常に小さくなるのではないか。	
小規模校の教育環境について	1,000人や2,000人いたころの学校を体験された方が学校を訪問されたときに、学習の状況を見て、これはいかんかというような気持ちを持ったということも率直にお話しされていた。	第3回懇談会「統合の効果検証」で検討
	小規模校においてちょっとしたトラブルが起きても、それを6年間背負っていかなければならない、これはきっと子どもにとっては大変つらいものがあるのではないか。	
	小規模校では、子ども自身がお互いに役割分担意識を持ってしまう。例えば、あなたはこういうのが得意でしょうか、こういうところですばらしい力、逆にマイナスの部分もあったかなという気がする。そういうことが他の何か役割の中にも固定化してしまう場合もあった。	
通学環境について	昔と違って、信号や歩道橋など道路整備がされているので、札幌のど真ん中であるということを配慮して資生館小学校はスクールバスの導入をしたのだと思うが、子どもをもうちょっと歩かせてもいいのではないか。体力づくりの面や学校帰りに学ぶものもすごく多いと思う。	第6回「考慮すべき事項」で検討
	最近子どもの生活リズムがとても乱れていて、夜型の生活になっている。学校が遠くなると、早く起きなければならない。早く起きるには早く寝なくてはならない。ある程度距離が遠くなると、いいリズムも生まれるのではないか。	
特認校に関する	いわゆる小規模校化が進むであろうという地域は、市街地周辺と予想されるが、こういったところは学区が非常に広い面積に及び、これを仮に統合するという話になると、非常に通学区域がさらに広がって、通学するためには当然何らかの交通機関が必要になるのではないかと思う。特認校化をし、市内から児童・生徒を集めることによって学校を維持することが可能であれば、検討する必要があるのではないか。	第6回懇談会「適正配置の方法」で検討
指導体制について	前回の意見提言では、「教育目標をすべての教員が共通理解するためには、教員数を一定以下にとどめておくことが望ましい」という記載がある。恐らく教員数が多くなればなるほど意思の疎通がなかなか回りにくいという観点からだと思うが、これは民間企業などの場合もトップの考え方をどのように社員に伝えるかということと同じことだと思うので、教員数云々ということではないのではないか。	第7回以降で検討
	教員に関して言えば、非常に年齢構成が偏っているという実態があるかと思うので、大量に教員の入れ替えの状況が生まれるとすれば、多少お金のかかることかもしれないが、将来を見越して教員の確保と、それから教員のスキルアップということを図らざるを得ないのではないか。	

【質疑応答】

質問	回答
「主要幹線道路という理由のみによる校区の分断を避ける配慮が望まれる」という項目があるが、提言後の具体例があれば伺いたい。	屯田北小・屯田北中の場合においては、主要幹線道路というところで大まかに分けるが、幹線道路で全部分けるということではなく、町内会区域や幾つかの前の学校の人間集団ということも配慮し校区の設定を行った。
学校と地域との連携という部分で、地域の人々による学校支援ボランティアなどの活用が必要だと書かれているが、近くの学校も、支援ボランティアをしている。これは、全的に浸透し、実施しているのか伺いたい。	地域の方が交通整理をしたり、冬は学校の前に滑りどめの砂をまいてくれたり、春になったら一斉に地域の方が掃除をしてくれる例もある。図書館で絵本と紙芝居の読み聞かせをしている。他にリコーダーの指導補助で授業に参加している例がある。
「通学地域の弾力的運用を行い、特認校化を行うことは困難である。単に特色があるという視点のみで小規模校を特認校化することは困難である」という提言内容についてどういった議論の中で出されたのか伺いたい。	本当に特認校と指定するだけで適正規模が図れるかというのは非常に難しいことである。区域の子どもがぐっと減ってしまっている、他都市では、全国から集めている所もあるが、規模が変動するため、適正規模を図るという観点から、特認校化するだけで適正規模は図れないのではないかという結論であったと記憶している。
特認校の変更というようなことはできないのか。現在の特認校は固定化されているものなのか。	教育委員会としては、現段階では変更ということは想定していない。

■ □ □ ■ 学校統合に関するアンケート結果 ■ □ □ ■

■ □ 調査の概要 □ ■

1 目的

統合による児童の様子の変化及び学校運営等について調査を行い、今後の学校適正配置事業の参考とする。

2 対象

- (1) 資生館小学校 2 年生～ 6 年生（各学年 1 クラス抽出）
- (2) 資生館小学校教員

3 調査時期

平成17年 3 月

4 調査人数

学年	対象児童数 (在籍数)	回答児童数	回答率
2 年生	35 人	29 人	83%
3 年生	31 人	31 人	100%
4 年生	33 人	29 人	88%
5 年生	29 人	24 人	83%
6 年生	28 人	22 人	79%
合 計	156 人	135 人	87%

※未回答は欠席によるもの。

5 集計結果

児童分： 1 ページから 9 ページ

教員分： 10 ページから 21 ページ

■□学校統合に関するアンケートまとめ（児童） □■



注1 設問ごと50%を超える意見を抽出した。(問9を除く)

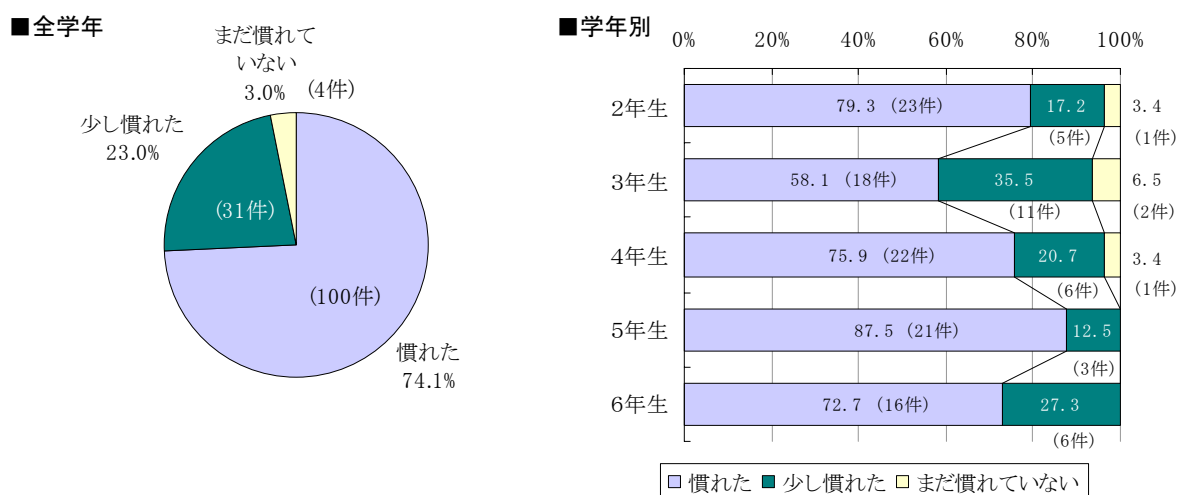
注2 丸付き数字は質問番号

注3 質問6は50%を超える意見がなかったため上位2項目を記載

学校統合に関するアンケート結果（児童）

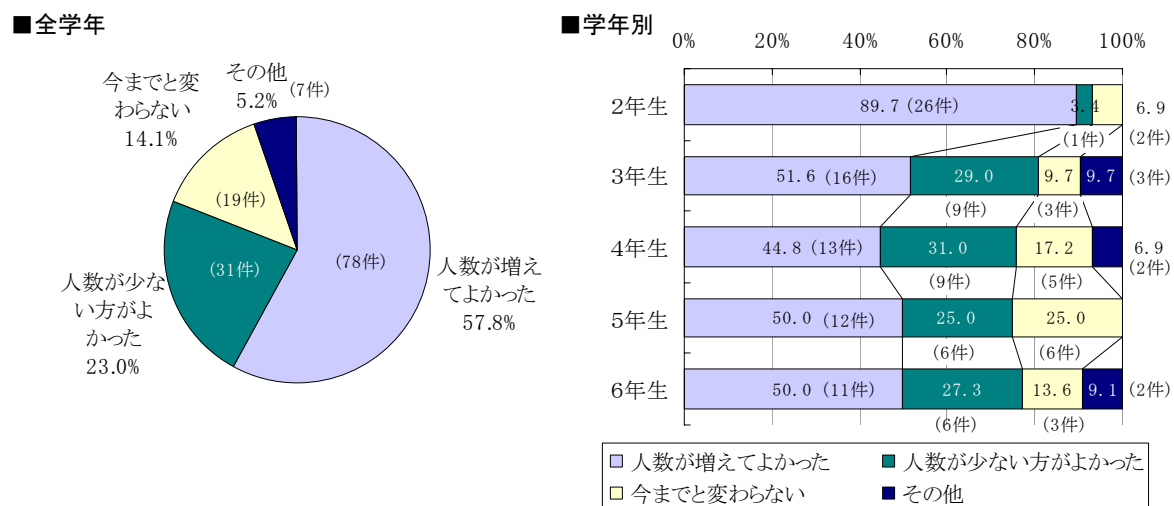
質問 1 新しい学校（名前も含めて）に慣れましたか。

ほとんどの児童は約 1 年で新しい学校に慣れている。5、6 年生では「まだ慣れていない」と回答した児童はいない。



質問 2 大きな学校になって人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

半数以上の児童が「人数が増えてよかった」と感じている。2 年生ではほとんどの児童が「人数が増えてよかった」と感じている。



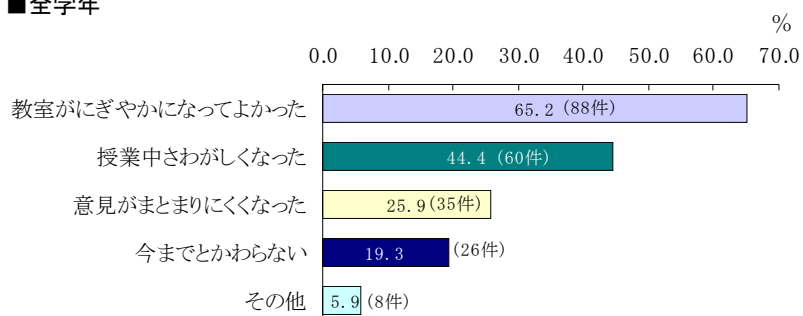
■ その他の内容

学 年	内 容
6 年生	友達ができたことはうれしかったけど、少ない方がやりやすかった。 少人数の方が一人一人目立ってたし自分を出しやすかった。でも多いと友達が作りやすかった。
4 年生	よかったところとあまりよくなかったところがあった。
3 年生	前の学校の方がいい。 あまり友達ができなかった。

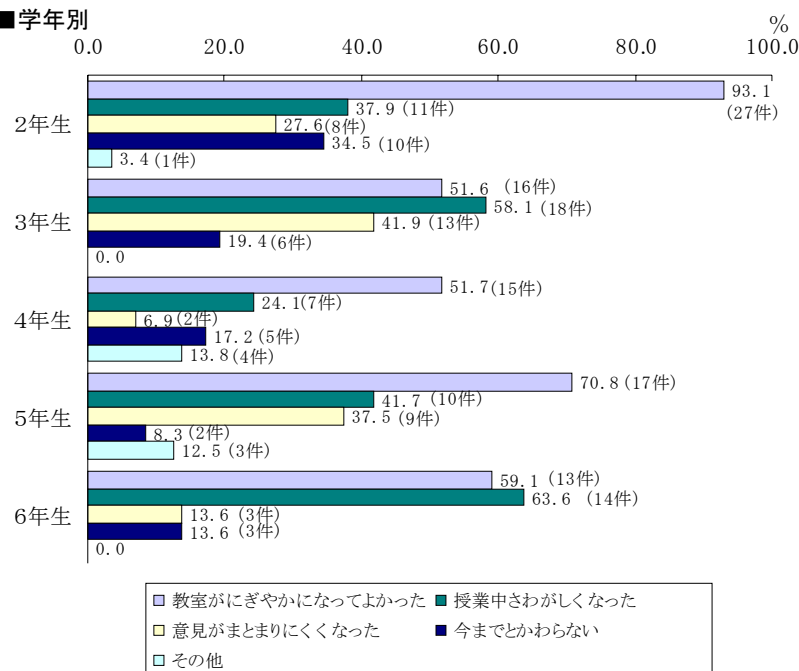
質問 3（複数回答） 教室の様子は小さい学校のと比べて変化がありましたか。

ほとんどの児童が「教室がにぎやかになってよかった」と感じている。3年生、6年生では、「授業中さわがしくなった」と回答した児童も多い。

■ 全学年



■ 学年別

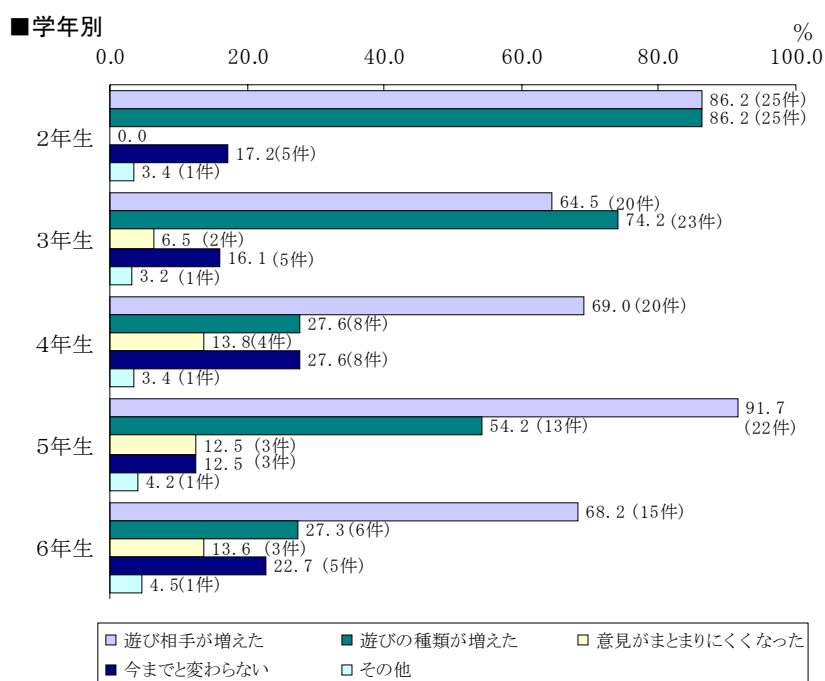
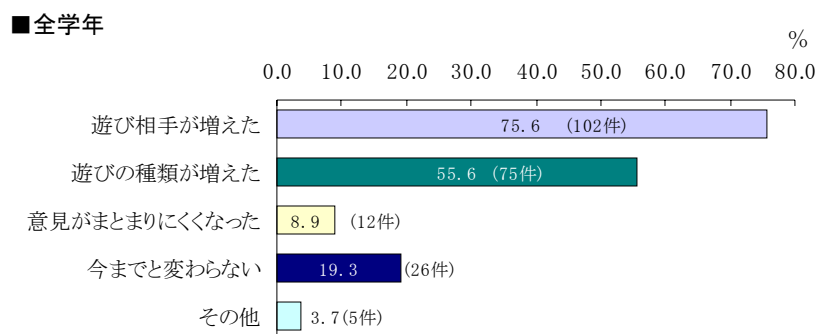


■その他の内容

学 年	内 容
5 年生	けんかが多くなった。 意見がまとまりやすい。 ドアがあった方が授業に集中できた。
4 年生	机が少し大きくなってよかった。 ドアがないから少しやりにくい。 壁やドアがなく、隣のクラスが騒がしい。
2 年生	友達が増えた。

質問 4（複数回答） 昼休みなど、休み時間の過ごし方で変化がありましたか。

ほとんどの児童が「遊び相手が増えた」、「遊びの種類が増えた」と感じている。高学年では、「遊びの種類が増えた」と回答した児童は比較的少ない。



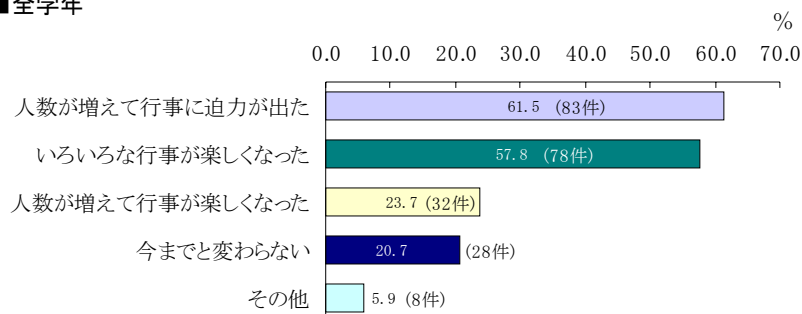
■ その他の内容

学 年	内 容
6 年生	前はバスケットかできたけど、今はできないからそれがちょっとやだ。
5 年生	騒がしくなった。
4 年生	遊ぶ日が少なくなった。
3 年生	あまり友達がいなくてちょっと残念です。
2 年生	遊びが楽しくなった。

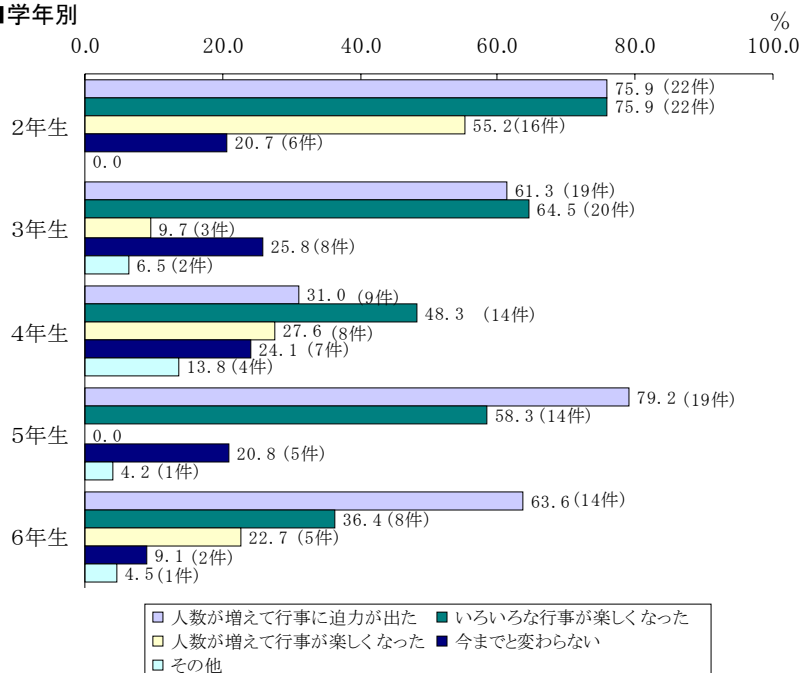
質問 5 (複数回答) 運動会や学芸発表会などの行事に変化がありましたか。

ほとんどの児童が「人数が増えて行事に迫力が出了た」、「いろいろな行事が楽しくなった」と感じている。学年別にみると、4 年生では「人数が増えて行事に迫力が出了た」と回答した児童が比較的少ない。

■ 全学年



■ 学年別



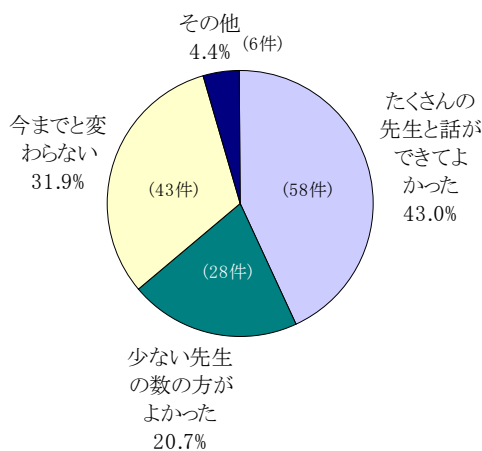
■その他の内容

学 年	内 容
6 年生	人数が増えてやりにくくなった。
5 年生	運動会の際は狭かった。
4 年生	新しい行事が出てきておもしろかった。 わからない。 体育館やグラウンドが大きくなったのでイスを運ぶのが大変になった。 人数が増えて台詞が少なくなった。
3 年生	ふざけてる人が多くなった。 違う行事が増えた。

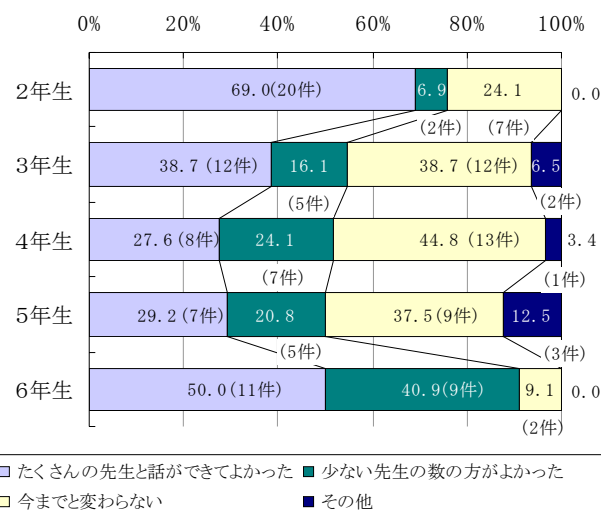
質問 6 学校が大きくなって先生の人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

「たくさんの先生と話ができてよかった」が約 4 割、「今までと変わらない」が約 3 割となった。学年別にみると 3、4、5 年生では「今までと変わらない」と回答した児童が 4 割程度と最も多い。

■全学年



■学年別



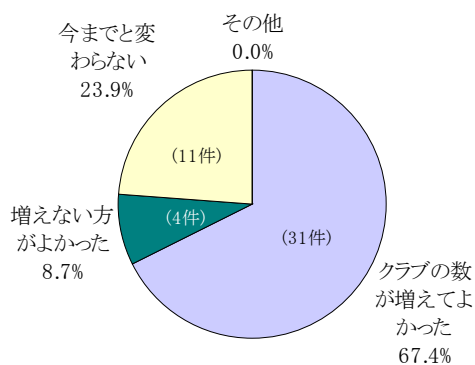
■その他の内容

学 年	内 容
5 年生	全員の先生の名前がわからない。 人数が増えて名前が覚えづらい。 先生と仲良くなれた。
3 年生	優しい先生が多くなってうれしい。 いろいろな先生にいろいろな教えてもらった。

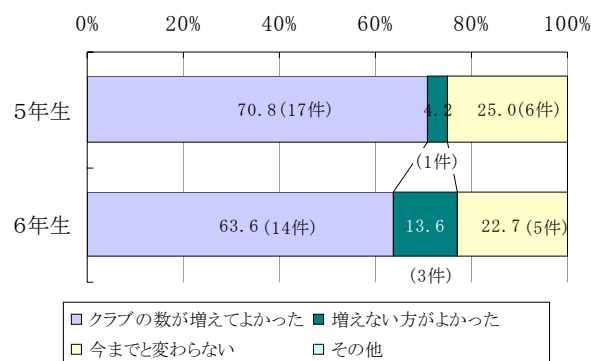
質問 7 クラブの数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。(5、6年生)

ほとんどの児童が「クラブの数が増えてよかった」と感じている。学年別にみても同じである。

■全学年



■学年別

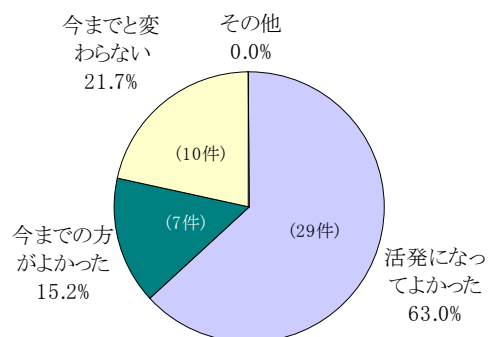


質問 8 児童委員会活動の数や種類が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

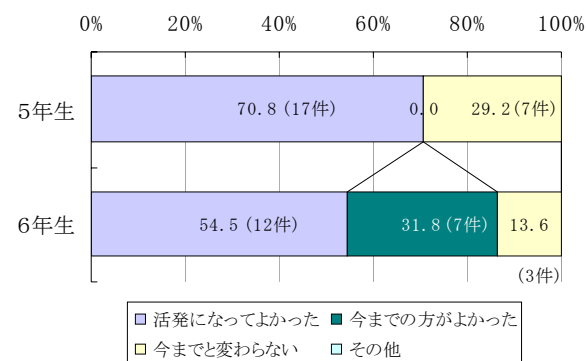
(5、6年生)

ほとんどの児童が「活発になってよかった」と感じている。5年生では「今までの方がよかった」と回答した児童はいない。

■全学年



■学年別



質問9 学校が大きくなったことについて意見がありましたら、自由に書いてください。

学年	区分	内容
6年生	学校統合に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●前の学校の時は、人数も先生も少なくて話しやすかったけど、たくさん増えて話しにくくなった。私は、本当は前の方がよかった。 ●ずっと同じメンバーで卒業したかった。 ●僕はとても最初はやだったです。なのでとてもむかつきましたけど、まあまあいいんじゃないんですか。 ●前の学校の人とかだけでいいいけないとかになるのだったらバスも〇〇方面とかで学校の名を使うのはよくない。前の学校の人というの方が楽しいと思うこともあるのでたまに集まる時間をほしい。 ●学校の距離が遠くなって、新しい友達ができただけでなかなか一緒に遊べない。 ●行事が増えて大変。 ●前の学校ではクラスが1クラスしかなかったけど、資生館は体育とかで、3クラスあるから対抗することができるようになった。(類似意見他1件) ●たくさん友達が増えたから学校が楽しくなった。(類似意見他2件) ●学校が大きくなったことはよいけれど、休み時間がうるさくなったような気がする。 ●長所と短所があるから統合が良かったとも悪かったともいえない。でも、小さい学校で暮らすよりいい経験ができた。大通小は中学が違うから統合しなくてもよかったのでは？ ●大きくなって階段とか上るのが大変だけど、いろいろな人と結構会えるし、他の学年(5, 4)とかとなりなのでいろいろはなせた。 ●グラウンドの中が芝生ではなく土の方が走りやすくてよかった。でも人数が増えて行事が活発になってよかった。
	施設等に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●前の学校のトイレは暗くて入りづらかったけど新しい学校のトイレは雰囲気明るくて入りやすくなった。 ●グラウンドに芝が生えた。 ●ドアがないからテストの時とかうるさくて困る。(類似意見他1件) ●体育館でバスケットかかはできたけど、今はできないからちょっと不満がある。(類似意見他1件)
	その他	●前と比べて登校するときに警備員さんがいて少し不安だけど安心になっていった。
5年生	学校統合に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●友達が増えてよかったです。(類似意見他7件) ●人数が多いと楽しい。 ●学校が大きくなって人数が増えたから、まだ知らない人もたくさんいます。たくさんの人と仲良くなりたいです。
	施設等に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●学校のいろいろなところが広がってよかった。(類似意見他2件) ●学校が大きくなって階段の上り下りがつらくなった。(類似意見他3件) ●運動会でグラウンドが小さいので、広くしてほしいです。(類似意見他5件) ●教室のドアがなくなって隣の声がかくならちゃってうるさい。(類似意見他1件) ●ドアがあった方がよかった。(類似意見他2件) ●ちょっと広すぎる。 ●学校が大きくなって大変になったことが増えて大変だけど、でももう何とか慣れてきました。これからはがんばります。 ●ソーラーパネルにしたところはとてもよかったと思います。 ●前の古い学校の方がよかったです。
	その他	●バスの時間が決まって遅れるときがあります。

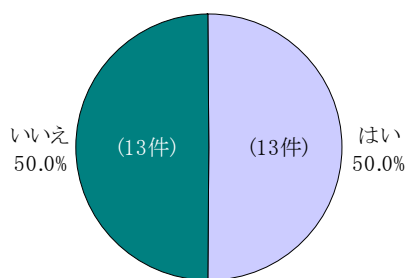
4年生	学校統合に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな友達が増えてうれしかった。(類似意見他1件) ●学校が大きくなって、遊ぶときの人数が増えて遊ぶのが前より楽しい。 ●学校が大きくなって教室も4階になって階段の上り下りが少し大変になったけど、友達も増えたしよかったです。 ●大きいのは気にしてないけど、家との距離が遠くなった。 ●大きくなって、きれいになったのもいいけど、もうちょっと少ない方がよかった(人数)。多すぎると、ちょっとやりづらい。友達が増えるのはいいけどもうちょっと減らしてほしかった。(400人くらいに) ●学校が広がって、他の学校の子も集まっていいけど、それはそこの学校だけでかたまっちゃうから、なんかやだったこともあったけど、今はとっても楽しいです。 ●人を探すことや階段がめんどくさくなった。
	施設等に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●やっぱり壁・ドアはつけた方がよいと思う。現在も隣のクラスが騒がしいです。テストの時、特にいやです。 ●毎朝階段で力がついた。
	その他	●転校してきたのでわかりませんが、とってもいい小学校だと私は思います。
3年生	学校統合に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●他の学年のお友達が減ったので、ちょっと悲しいです。 ●友達がたくさん増えてよかった。外からガラス窓なので壁にしてほしい。 ●学校が大きくなったのもいいし、人数が増えてよかった。
	施設等に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●教室のドアがほしい。(類似意見他9件) ●階段が長い。 ●グラウンドが広がった。 ●体育館が広がって遊べた。 ●学校のグラウンドが芝生でよかった。 ●みんなで交流する場所があって遊びやすい。 ●大きいからいい。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●授業が長すぎる。 ●ルールが多い。
2年生	学校統合に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●友達が増えてよかった。(類似意見他11件) ●人数もいっぱいいるから楽しい学校だからいいと思いました。 ●生活が楽しくなってみんなと会えてよかった。 ●前の学校は6年生が少なかったんだけど、今の学校は6年生が増えて優しくなったからよかったです。 ●友達といっぱい話せるようになってよかった。はじめてきたときより先生と会話できるようになりました。1学期よりも友達とすごく会話ができるようになりました。 ●友達の名前がわかった。 ●いつも友達と遊んだり、先生もいい先生になったからよかったです。 ●学校が大きくて楽しい行事ができて1年生の友達とか3年生の友達が増えてよかった。 ●先生が替わって楽しかった。(類似意見他7件) ●掃除が早くなってよかった。 ●係活動がおもしろくなった。
	施設等に関する件	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターができてよかった。(類似意見他1件) ●プールができてよかった。(類似意見他4件) ●グラウンドが芝生だから遊んでいて転んでも痛くないからよかった。 ●ドアがなくて出入りしやすくなった。 ●図書室にある本が多くなった。 ●体育館が大きくなった。(類似意見他2件) ●学校が広くていいです。うさちゃんがいておもしろかった。(類似意見他1件) ●学校は明るいまい広いと思います。 ●大通小学校より学校全部が変わった。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●うさと一緒に遊んで楽しかった。 ●勉強の国語が楽しくなった。

学校統合に関するアンケート結果（教員）

問 1 前任校は都心部 4 小学校でしたか。

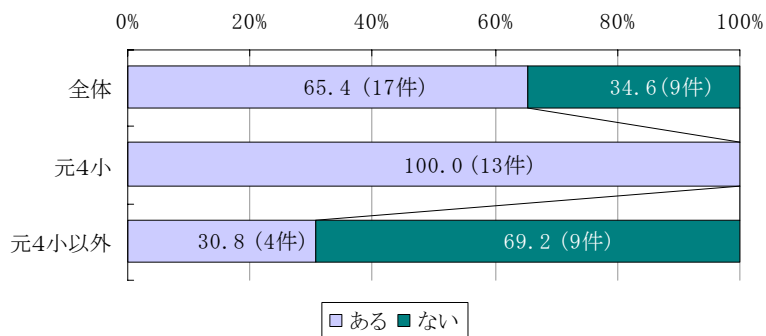
都心部 4 小学校（元 4 小）とそれ以外（元 4 小以外）が半数ずつ（各13件）である。

回答数=26件



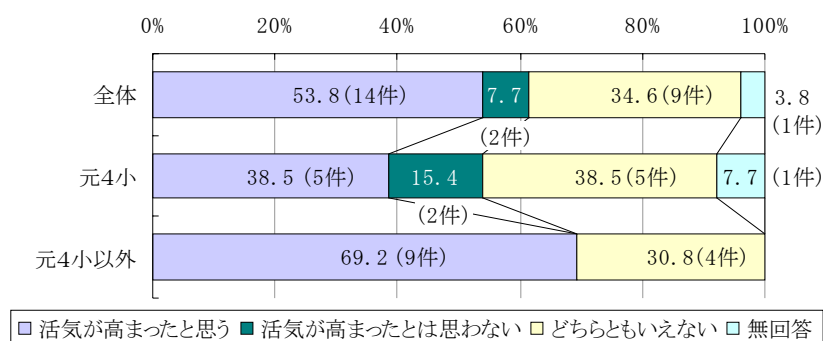
問 2 過去に小規模校（11学級以下）の学校で勤務した経験はありますか。

小規模校の勤務経験がある教員が多い。



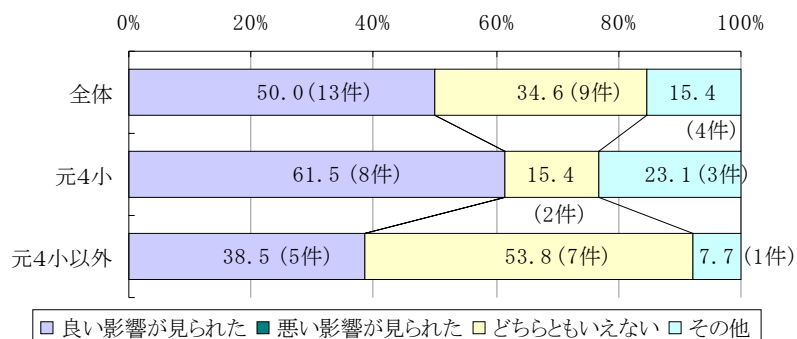
問 3 児童の数が増えることにより学校全体の活気が高まったと思いますか。

「活気が高まったと思う」が半数程度となった。前任校の別にみると、元4小で、「活気が高まったとは思わない」との回答が2件あった。



問 4 学年単学級から複数学級になって児童の人間関係に影響が見られましたか。

「良い影響が見られた」が半数となっている。前任校の別にみると、元4小で「良い影響が見られた」が6割と多くなっている。



■ その他の内容

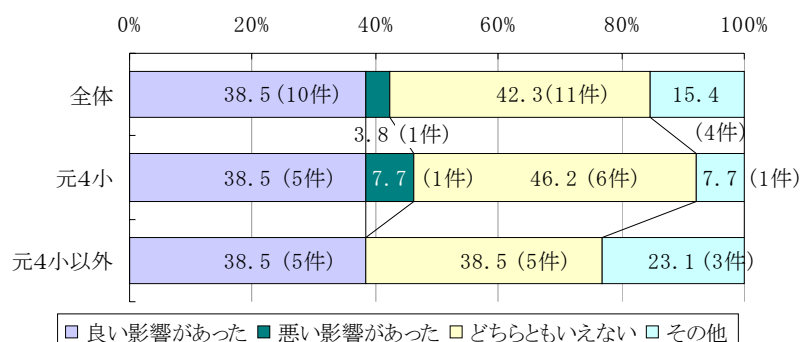
学年	内容
元4小	<ul style="list-style-type: none"> ● たくさんの人間関係を体験できる。 ● 1年生なので何ともいえない。 ● 良い影響も悪い影響も見られる。
元4小以外	<ul style="list-style-type: none"> ● 良い影響も悪い影響もどちらも見られた。

問 5 問 4 の具体的な影響。

前任校	問 4	内 容
元 4 小	良い影響が見られた	<ul style="list-style-type: none"> ●社会性、思いやり、表現力の高まりが見られました。 ●新しい友達が増え、いろいろな意味で刺激を受けていたと思います。クラス替えなどを経験し、多くの人と関わる機会に恵まれて、人間関係が固定化しないで済むことが良かったと思います。 ●学年全体での教育活動を通して、多くの出会いやふれ合いがあり、子供たちのコミュニケーションの広がりや深まりがみられた。 ●交流が広がり自分の良いところをたくさん見つけるきっかけができた。 ●大人数での集団行動が身に付いたと思う。 ●交友関係に広まりがみられた。固定された交友関係ではなく、いろいろな性格の友達と接することができる、活動の場が広まる、自分を生かすことができる場が多くなった。 ●協力体制。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●たくさんの人間関係を体験できる。 ●1年生なので何ともいえない。 ●良い・・・幅広い人間関係から学ぶことが多い。悪い・・・家庭環境の違いが大きく行動様式、親の考え方がかなり違うので、それが児童の人間関係にも影響している。
元 4 小以外	良い影響が見られた	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人数が集まり何をやるにも盛り上がりがある。 ●お互いに支え合うこと、いい刺激を受けること、協力することの大切さ。 ●単学級の経験はないが、学年の学級数が増えたことで、他学級との交流の意義が生まれた。児童の友人関係に幅ができたと思う。 ●友達関係の広がりが見られる。 ●児童の人間関係の広がりが見られた。また、同じ学年や学級の子からの刺激もあり、自分をよりよく変えていこうとする姿が見られた。
	どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●「良」・・・学級解体がないこと・少人数であることが一個人の価値を児童間で固定してしまうという懸念が薄れる。「悪」・・・小規模でも学校全体で児童一人一人を生かした教育が充実していた場合、大規模になったことで集団へ寄与しているという存在感や実際の活動場面が減って、人へ働きかけする意欲や能力が減退した児童もいたかもしれない。

問 6 学習活動において学級規模、学年規模が大きくなったことによる影響がありましたか。

「良い影響があった」と「どちらともいえない」がともに4割前後となった。前任校の別に見ると、元4小では「悪い影響があった」との回答が1件あった。



■その他の内容

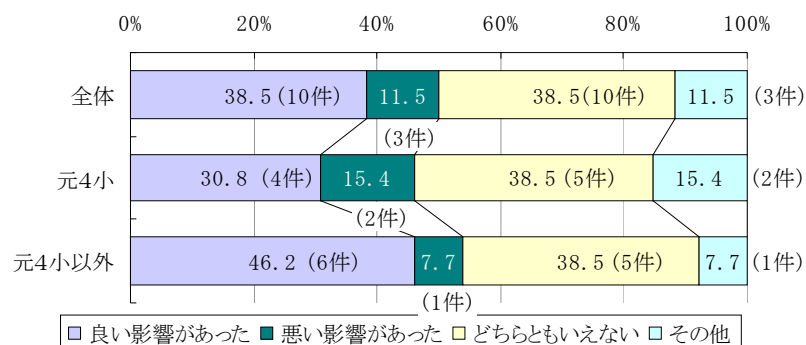
前任校	内 容
元 4 小	●両面あると考えます。
元 4 小以外	●どちらの影響もあった。 ●個別指導が難しくなった。 ●両方考えられる。

問 7 問 6 の具体的な影響。

前任校	問 6	内 容
元 4 小	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●体育や音楽など、大人数で学習することの楽しさを経験できる。 ●多様な考え方の中で自分の学ぶ力を高めることができたようです。 ●いろいろな意見があってもおもしろい！と言っている子がいる。 ●様々な学習形態、複数の指導者による学習が可能になった。自分と他者とを比較し、良いところを吸収できるようになった。
	悪い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●人数が増えたことで個別のかかわりが減っていった。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの見方・考え方に触れ、考えを深める面では人数が多いことで刺激を受け、考えを広げることにつながりました。小グループでの活動や習熟の面では一人の教師で対応するためには工夫が必要でした。
元 4 小以外	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●学年・学級で行う活動の幅が広がり、全体で一つの行事を作り上げる意識が育った。 ●他学級の学習態度などをみることができたり、学年での活動に活気があった。 ●多様な考えにふれることができ、子供にとって豊かな環境になったと思う。 ●学年で指導体制がとれ、さらに複数の教師で指導に当たる機会が多いため。 ●良い意味で刺激を受ける機会が多くなった。同じ学年や学級の子にあこがれ自分を伸ばしていこう、～さんのようになりたい、という意識がみられた。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模校でクラスの人数が少なかったときは、学力差、能力差を十分把握し、個別指導をすることも可能だったと思うが、33～34名のクラスになり、個の差異があまりにも違い、個別指導が必要な子が複数いるのに、教師が対応できないところがある。 ●いろいろな考え方に触れ、自分を高めたり深めたりできる。自分がでなくても他の人がやってくれるといったような依存傾向が強くなる。
	どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●学級数が増えたということはさほど影響はない。学級の児童数が増えたということで影響は出たと思う。「良」・・・人数が増えたことで問題解決的な学習での話し合いや活動内容・表現活動など深まりや広がりを求めることができる。「悪」・・・一人一人に対して基礎基本の定着や技能の習熟などなかなか行き届かなくなる懸念がある。

問 8 行事において学校規模が大きくなったことによる影響はありましたか。

「良い影響があった」と「どちらともいえない」がともに4割弱となった。「悪い影響があった」との回答は、元4小で2件、元4小以外で1件であった。



■ その他の内容

前任校	内容
元4小	●行事によって違います。

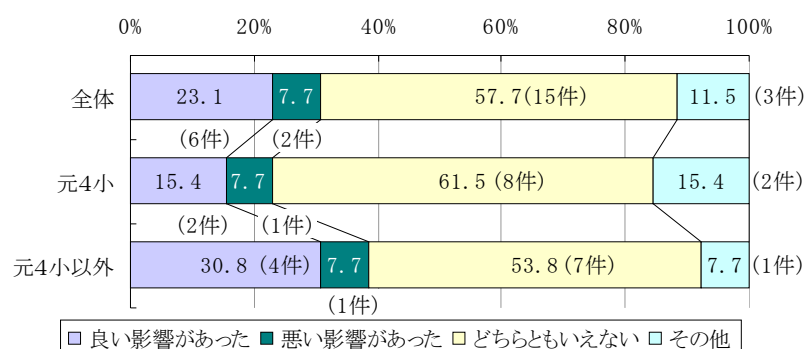
問 9 問 8 の具体的な影響。

前任校	問 8	内容
元4小	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●行事の内容に幅ができ、多様な経験と感動を生むことができた。 ●他学年の発表等を見合うことにより、良いものを吸収し、自分のものにしていくとしていた。 ●ライバルがたくさんいることで目標をより明確に持ちより高い目標に向かっていった。 ●多人数でなければ行えない競技、演技、活動ができるようになった。
	悪い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●人数が増え、時間は限られるので一人一人の活躍の場面は減ったように思います。もちろん、多人数でなければ出せない迫力ある演技(競技)が可能になった面もあるので、一概に悪いことばかりとはいえません。 ●悪い影響というのかはわからないが、今までに一人にかかる役割が大きかったが、人数が増えて誰かがやってくれるだろうと思ってしまう子もいたようだ。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会を行うにあたり、グラウンドの広さが問題となり、難しい部分が大きかった。 ●運動会では、人数が多くなったことで活動に限りが生まれました。学芸発表会では、人数の多さがよりダイナミックな表現を生みました。
元4小以外	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●徒競走や団体などは見応えのあるものになった。 ●全体で作っていく喜びを感じている。 ●多様な考えにふれることができ、子供にとって豊かな環境になったと思う。 ●大勢ですることにより、より協力することが必要となったり、迫力のある演技・発表の可能性が広がる。 ●様々な取り組みが可能になった。
	悪い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●児童数とグラウンド面積のバランスが悪いです。運動会の会場としては狭いです。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●全体指導は難しかったように思う。その分、学年・学級に任されていた部分が多かった。行事はとても盛り上がった。

元4小以外	どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●規模が大きくなると様々な活動内容や指導方法などが考えられ、見る側ややる側にとって魅力的な行事を構成しやすくなる一方で、一人一人の良さを発揮させる場が限られたり、目が行き届きづらくなったりするなど個の活動する場面が減り、成就感が以前より薄れたことは否めない。 ●盛大な雰囲気と盛り上がり。一人の台詞が少なくなったのは悪い影響。
-------	-----------	--

問10 行事以外の特別活動において、学校規模が大きくなったことによる影響はありましたか。

「どちらともいえない」が多数となった。前任校の別にみると、「良い影響があった」との回答が元4小では2件、元4小以外では4件となっている。



■その他の内容

前任校	内容
元4小以外	●影響なし。

問11 問10の具体的な影響。

前任校	問10	内容
元4小	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容に広がりが見られ、児童の発想や考えをいっそう生かすことができた。 ●たくさんの仲間とともに活動することで種類・内容ともに豊かになった。
	悪い影響があった	●一つのクラブにたくさんの子供が所属するため活動しにくい。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模の時は、4、5、6年と3年間経験できたが、今は2年間。(普通の学校は2年間なので悪いとはいえないが) ●統合によりバス通学となり、放課後の活動ができなくなった。このことにより児童会活動は活動が制限されることとなった。これは他の活動、学習にも同様のことがいえる。
	どちらともいえない	●たくさんのクラブや委員会を設置できるようになった。反面、一人一人の活動の場は減った。
元4小以外	良い影響があった	<ul style="list-style-type: none"> ●指導する教員数も増え、クラブの種類が増えるなど子供の選択の幅が広がった。 ●複数の委員会やクラブを組織することができるようになり、活気がでた。 ●多くの種類から選択する幅が広がる。 ●委員会活動により、学校を動かしたり、多くの人と関わる機会が多くなった。

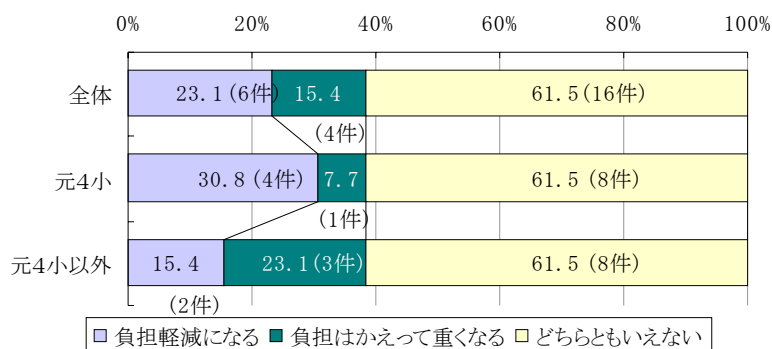
元 4 小 以 外	悪い影響があった	●一人一人の役割が薄くなったような気がする。
	その他	●委員会・クラブ活動は教師側の考え方ややり方一つで活動内容ががらっと変わり、その結果として子供の成長の度合いも変わってくるので学校規模に関係ない。本校の場合は、規模よりスクールバスなどの影響による時程などの方が検討課題である。

問12 学年単学級から複数学級になって学年担任も複数になりますが、その影響がありますか。

前任校	内 容
元 4 小	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろなアイデアがあり、仕事も分担でき、刺激にもなって良い。 ●担任それぞれの良さが指導に生かされる。他の人に学ぶことができる。 ●より多くの先生に育てられるという面では良いと思う。 ●一人一人の子供を複数の目でみていくことができる。学年内のサポート体制が生まれる。教材研究等、学習指導面で深まりがみられる。 ●学級担任のみではなく、学年担任からも指導を受ける機会が増え、学校としての指導・・・という意味合いが伝わりやすくなったのではないかと思う。分担することで多様な学習展開が可能になるのではないのでしょうか。 ●活動の範囲が広がり、活動がダイナミックになった。 ●複数の担任のそれぞれの個性を生かした指導ができるとともに、複数の目で子供の良さを見ることができました。 ●役割分担により事務的な作業は軽減された。 ●活動がより豊かに充実したものになった。 ●分担、連携で楽しくやっていた。 ●グループ学習などで複数の教員の指導を受けられるようになった。
元 4 小 以 外	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の数が増えたことで様々な考え方が生まれ、互いの会話の機会が減ったりすることが考えられ、硬い言い方をすれば学校運営、柔らかくいうならば互いの人間性についての共通理解が難しくなった。しかし、今後徐々に共通理解が図られることで小規模の時より大きな仕事ができる可能性は大である。 ●いろんな業務を分担して行うことができるようになった。打ち合わせをしっかりとやらなければならないようになった。 ●学年担任として、複数の目で児童を指導することができるし、学年経営にいろいろな個性を生かしあたっていけるので良いと思う。 ●単学級を経験したことがないのでわかりません。 ●それぞれの専門性を生かすことができた。 ●いろいろな考えが合わさり、よりよいものを目指せる。互いに影響し合える。役割分担をしたり、その先生の持ち味を生かしたりすることができる。 ●複数の目で指導できること。 ●一人の子を一面的にではなく、様々な角度からとらえることができる。互いに協働して役割をはっきりさせることで仕事を分担することができる。 ●多様な考え方の意見が交流され、視野を広げることができる。

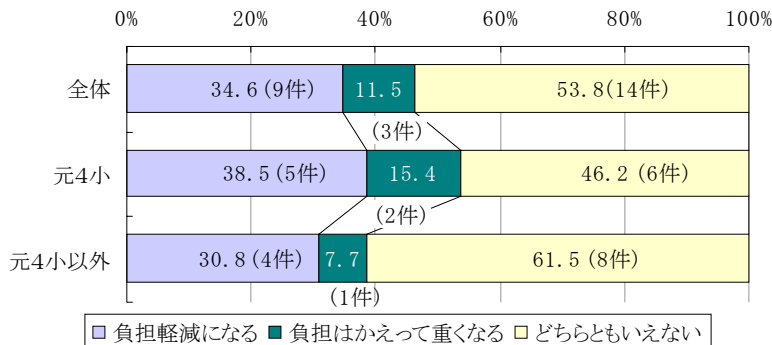
問13 教員の数が増えたことにより、校務分掌上の負担に変化があったと思いますか。

「どちらともいえない」が多数である。前任校の別にみると、元4小では「負担軽減になる」との回答が4件と元4小以外より多い。



問14 学校行事の運営などの負担に変化があったと思いますか。

「どちらともいえない」が半数程度となった。「負担軽減になる」は元4小が5件、元4小以外が4件となった。



問15 学校規模が大きくなったことにより教育上のよい効果が表れていると思われる点があれば記入してください。

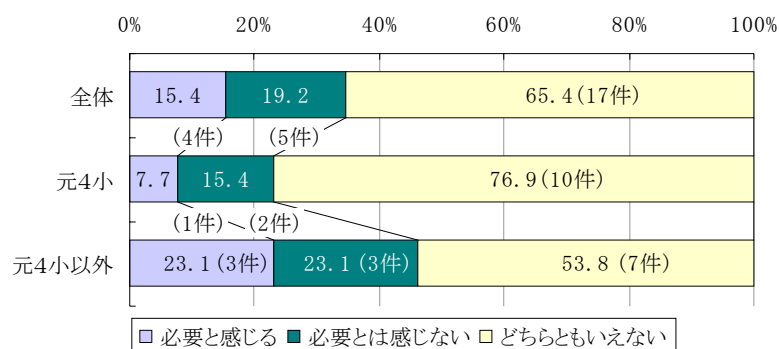
前任校	内 容
元4小	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲーム、行事への取り組みなど、刺激しあえることで、自分のレベルを上げようという意識が生まれる。 ●「人から学ぶ」ということに関しては、様々な刺激を子供たちは受けて生活している。その刺激が子供たちの学びにつながっている。 ●まだ1年しか終わっていないのでわかりません。良い結果が出るよう努力したい。 ●これまでは少人数の家庭的な雰囲気だったが、規模が大きくなることでその雰囲気は失われた。このことで、集団の中で自分を出したり（埋没せずに）、自分をコントロールする社会性（？）を伸ばす場が増えた。 ●児童間、教職員間の交流が活発になり学校教育の活性化に結びついた。 ●校内での友達との関わりが増えた。いろいろな人の多様な考えにふれる機会が増えた。 ●より多くの子供たちが集まることによって、学習面・運動面で刺激がある。 ●一つ一つの活動がダイナミックになり、その分子供の満足感も大きくなった。（全部の活動がそうなるわけではないが） ●多くの仲間と豊かな活動ができるようになった。 ●やはり大人数での集団行動が身に付くと思う。 ●子供の社会性、他者を思いやる気持ちが育ってきている。PTA世帯数が多くなり、保護者が関わる教育活動が盛んになりつつある。 ●狭い人間関係の中で子供たちは固定した友達との付き合いに終始していたが、人数が増えたことにより、新たな人間関係や価値観に出会うことができた。
元4小以外	<ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる学校教育の場で児童間の響きあいや関わり合いが求めやすい。これは、学習効果で人間尊重などの教育など、あらゆる場において様々なことに対する深まりや広がりを求めることができる。 ●社会性が身に付く。他を思いやること、社会の中での自分の役割に気づくことができる。いろいろな友達の良さに気づくことができる。 ●いろいろな人と知り合える（友人関係の幅ができる）。教職員・児童とも大人数なので活気が生まれる。 ●生活環境が豊かになったと思います。（多くの子供、教師がおり、多様性が増したと思います。） ●多くの目で子供の良さを見取ったり、指導したりできる。児童の選択の幅が広がり、教師がそれに関われる。子供同士の関わりが広がる。 ●学級が多くなることで、クラス対抗の取り組みなどをすることができ、良い意味で刺激になる。TTも含めて多様な学習形態が可能である。 ●教師も児童も切磋琢磨しながら成長する姿がある。 ●より実社会に近くなるので良い面もあると思う。 ●いろいろな人がいるということを共通理解できたと思います。

問16 学校規模が大きくなったことで、教育的効果が低下したと思われる点があれば記入してください。

前任校	内 容
元4小	<ul style="list-style-type: none"> ●やはり、教育的なフットワークの重さ……。安全面、共通理解などクリアしなくてはならないことが増え、大胆な教育活動ができないのは確か。 ●一人一人の児童へかける目や時間などは減っていることは確か。一人一人の細かい指導が以前はかなりできた。(1クラス20人程度でしたから) ●個々に配慮が必要な児童が比較的多いという実態があったが、規模が大きくなることで細やかな対応は難しくなった。 ●人数が少ないときの方が異学年とのつながりが濃密で家庭的だった。校区が広く、放課後の友達関係にはあまり広がりは見られない(低下ではないですが)。下校後に、何か起きたときの対応が大変(校区が広い)。目も届きにくい。(家庭に任せることかもしれませんが)。 ●子供にかかる時間が少なくなったように感じる。全体指導が増えました。校区が広くなり、すぐ家庭訪問で保護者との連携が困難な面もある。 ●空間的、時間的条件が厳しくなり、活動の幅が狭くなりがちだった。異学年とのつながりが薄くなる傾向があった。 ●一人一人にきめ細かな対応という点では、明らかに低下している(特に低学年の子への) ●個別の対応ができにくくなった。 ●小規模校では全職員が全校児童の名前や性格、行動について知っていることができたが、大規模校では少々難しい。 ●子供一人の役割が希薄になり、意欲低下を招いた子がいた。
元4小以外	<ul style="list-style-type: none"> ●一クラスの人数は増えたのではないか。 ●「間違いの少ない一般的な教育論」と「ある程度無理を承知でリスクのある特殊な教育論」が議論されたとき、発言機会の均等化や多様な意見を生かそうとするあまり、どうしても一般論で可決される傾向は否めない。 ●きめ細かい見取りができなくなる。 ●多人数の中に埋没してしまったり、一人一人の責任が薄くなり動かないでいてしまったりする子が出てくる。 ●一人一人に細かく目が行き届かなくなった。誰かに任せておけば良いという意識も出てきた。 ●やはり、1個人に対する教師の目配り、気配りが不十分になるのは相対的に考えると仕方ないと思われる。 ●生活環境や価値観などの違う子供が混在しているため、学習環境の変化に対応できないようです。

問17 小規模校の統合は必要だと思いますか。

「どちらともいえない」がほとんどとなった。



問18 問17の理由。

前任校	内 容
元 4 小	<ul style="list-style-type: none"> ●まだ、何も言えない段階ではあるが、雰囲気には暖かいものがあった。たくさん的人数がいる中で、もっとお互いのことを意識し、接することができれば、統合することにも異議が出てくると思う。 ●1年目でまだ判断がつかない。 ●まだ1年目です。今現在は「必要とは思わない」が強いですが、小規模校の問題点もあるので、決められません。 ●大規模にすることのメリットが感じられない。少なくとも子供たちにとってはデメリットの方が多く思う。小規模校には小規模校なりのすばらしさがある。大切にしていきたい。 ●現在小規模の学校も、もともとは学年複数級で設置されたものであり、児童数の減少によって小規模校となっている。小規模校、複数級校とそれぞれ良さがあるのは当然であり、基本的な学校設置のねらいからすると、複数級校が必然といえる。大きな規模の学校でも小規模校の良さは生かせるが、小規模校で大規模校の経験をするのは難しい。ただ、校区が広くなり登下校が遠くなる子がいるのが課題である。 ●その地域の実情（家庭環境、通学の方法・距離なども含めて）をよく考えた上で、統合した方が効果が上がるのであれば、統合すべきだと思います。少人数だからという理由だけで統合するにはいろいろ問題も多いように感じます。 ●人数的な枠の中で考えてしまうと、ただ人数的なくくりとなってしまうのは、地域のことを十分考慮した方がよい。 ●小規模校、大規模校、それぞれに良さがあります。今後、学校選択制なども視野に入れたとき、それぞれの良さを生かした教育活動を行うことが必要なのではないのでしょうか。 ●統合によるメリットが形となって現れてくるにはまだ時間が必要なので。 ●仲間が増え、良い面も多いが、通学バスの問題や下校後の問題も多く、両面がある。 ●まだ1年しかたっていないので何ともいえない。 ●それぞれの学校には独自の良いところ（教育課程や地域の取り組み）があり、大規模になっては行えない教育活動もある。また、社会性という面では、小規模校では不十分である。 ●小規模校では教師の目が十分すぎるほど行き届くなど、良さがあるので、どちらともいえません。一長一短は必ずあります。
元 4 小 以 外	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模は小規模なりの良さがあり、まとまりやすく全職員が全児童を把握しやすい。 ●小さくとも地域に根ざした教育が行われそこにはコミュニティーの中心としての学校の働きがあれば残してほしい。 ●学校によってその地域での存在価値は違う。その学校同士が統合するという事は、事前に様々な観点から実態調査を行うことが大切である。地域・家庭にとってなによりも「おらが学校」でなければならない。学校・地域・家庭、そしてなにより子供にとって「統合」が「現状維持」か、よりよい方を選択してほしい。 ●やはり社会性を身につけるには、小規模校より統合した方がよいし、今の子供たちに社会性を学ばせることは必要。 ●メリット、デメリットがそれぞれあるが、本校の場合、地域的に特殊な立地条件であるため（家庭環境も含めて）、他の地域（住宅街）と一概に比べることができないと思うからです。 ●学校が社会生活を学ぶ場であると考えたら、小規模（少人数）であるよりそれなりに人数がいた方がよいのではないかと。ただ、統合により校区が広くなりすぎることも問題だと思う。登下校や放課後については、不自由が多くなると思う。 ●ある程度の人数（子供）の中で教育していく方が利点が多いと思います。 ●それぞれの規模のメリット・デメリットがあるので。 ●時と場合による。地域にもよる。保護者の理解が必要。 ●良い面もあるが、手厚いケアという面においてはマイナスの面も多々あるのが現状です。上手に、地道にマイナス面を克服しつつ、現在各セクションにおいて教育活動が実施されております。 ●いつもこの規模の学校でしたので（小規模を知らないで）比較できません。 ●地域背景（家庭環境）の差がある学校の統廃合は慎重であるべきだと思います。

問19 その他、統合についての意見があれば自由に記入してください。

前任校	内 容
元4小	<ul style="list-style-type: none"> ●統合のために費やす時間・労力も大変なものでしたが、統合してからの1つの学校に作り上げていくのも大変なことだと思います。 ●地域との十分な話し合いを行い理解を得る必要があります。 ●その地域の実情（家庭環境、通学の方法・距離なども含めて）をよく考えた上で、統合した方が効果が上がるのであれば、統合すべきだと思います。少人数だからという理由だけで統合するのにはいろいろ問題も多いように感じます。 ●子供を取り巻く環境が多様化している今、地域の特性、校区の広さ等、単に子供の数だけで統合を考えるのではなく、様々な条件を考慮に入れた上で、考えていくべきだと思います。 ●これから、統合が増えると思いますが、複合施設というこの施設はふつうの統合とは違うと感じています。 ●スクールバスについては、担当職員も必要であるし、登下中のトラブルも多いので、一考の余地あり。
元4小以外	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールバスを運営しなければならないのであれば、徒歩で通えるような統合の仕方考えた方がよい。スクールバスは子供の活動にとってマイナスにしかならない。また、その費用は札幌市の予算の中で本当に必要なものかどうかとても疑問を感じる。もっとよく検討してほしい。教室のオープンなもの、階段が中央に一つしかないことも非常に使いづらい。学校のことを知らない誰かが設計したのかと疑ってしまった。文句を言えるならばいいたい。 ●統合によって校区が広がりスクールバスの運行が行われました。この運行は良くも悪くも本校の教育活動（特に日課表）に大きな影響を及ぼしました。バス通については他の小学校でも行われていますが、本校としても市教委としてもそのあり方に一考を要しても良いと思います。 ●統合の良さを保護者にも理解してもらえるようにがんばりたい。 ●4校の統合の際の経緯もあったと思いますが、納得されないで、今に至っている親もいるようです。学校では、それらの経緯もふまえながら少しでも統合して良かったという気持ちを児童も保護者にも抱いていただくよう努力しています。複合施設ゆえの悩みも抱えながら、子供の自己実現の場を提供すべくこれからも教育活動を推進していきます。特別扱いはできないということもあるかもしれませんが、本校には特別な状況を考慮していただき、これからも手厚いご支援をお願いしたいと思います。 ●バスや施設面の様々な業務については、学校の負担を軽くするようなシステム作りが必要だと思います。本来の学校教育でないところにも時間をかけるのがもったいない。一番大切なことが一番にできるように。 ●統合校と近隣校の選択ができるようにすべきです。保護者の理解と協力があつての学校づくりを推進していくためにも、互いの納得によって学校運営は進められていくべきです。

I 学校の適正規模		懇談会 開催回
1 学校規模のあり方を考える視点		
1) 子どもの教育人格形成からの視点		
個性・社会性	集団生活を通じて、個性を磨くことや社会性を身につけることなど、様々な教育効果は、一定以上の規模の集団の中で学び、生活していくことによって、より高められる。	③
クラス替え	固定しがちな人間関係に変化を与えるため、新しい成長の機会を得るためなど、効果的なクラス替えが可能となるような学級規模が必要である。	
帰属意識・集団活動	帰属意識や連帯感を持ち全校的な人間関係を育むためには一定以下の規模が望ましい。また、一体感のある充実した集団活動を展開する上では、過小・過大な学級規模は避ける必要がある。	
教員とのふれあい	子どもの潜在的な能力を伸ばしていくためには、様々な個性を持つ多くの教員とふれあうことのできる学校規模が必要である。	
部活動	子どもたちの興味・関心に応じた選択肢のある多様な部活動を成り立たせるためには一定以上の学校規模が必要である。	
個性に応じた学習指導	生徒の個性に応じた学習指導が適宜受けられるような教員数を確保できる学校規模を保つことが望ましい。	
2) 学級規模からの視点		
30人学級	30人学級の導入のほか、弾力的な学級編成は今後の具体的な検討項目であるが、現状では、1クラスの平均人数が32人であり、30人学級の導入は中長期的に検討すべき。	⑤
3) 指導体制からの視点		
教育内容の変化への対応	新しい学習指導要領など、今後の教育内容の変化に対応していくためには、十分な数の教員の確保が可能となる学校規模が望まれる。	③
教員の協力	小学校において、同学年の担任教員が協力したり、良い刺激を与え合う効果を考慮すると、1学年3～4学級が望ましい。	
教育目標の共通理解	学校の教育目標をすべての教員が共通理解し、より充実した教育活動を行うためには、教員数を一定以下にとどめておくことが望ましい。	
中学校における学習指導・生徒指導	中学校では5教科について一人の教員が3学年にわたって対応することは困難と考えられるので、一定以上の学校規模が望まれる。充実した生徒指導を行なえる学校規模を考えることが望ましい。	
4) 新学習指導要領からの視点		
人間性・社会性の育成	新学習指導要領のねらいの一つに「豊かな人間性や社会性の育成」があるので、規模の検討についてはこの点も十分考慮する必要がある。	-
総合的な学習の時間・選択教科	総合的な学習の時間や中学校の選択教科において、多様な学習や児童生徒の興味関心の多様化に対応できる適切な数の教員の確保が可能な学級規模があることが望ましい。	
5) 地域とのかかわりからの視点		
地域との連携	学校と地域の連携を強め、地域の教育力を生かしていくことに配慮する必要がある。	⑥
2 小学校における適正な学校規模		③
1) 小学校における適正な学校規模の考え方		
子どもの教育環境に関して	効果的なクラス替えが可能となるよう1学年で3～4学級、少なくとも2学級あることが望ましい。6学級以下の学校は改善が望まれる。	
学校の指導体制に関して	教員が相談・研究し教育効果を向上していくためには、1学年3～4学級程度の規模が必要である。	
総合的な学習の時間に関して	学年としての計画立案、実行が可能となる、1学年3学級以上の規模が望ましく、総合的な学習の時間に対応した教室の数と質が確保できる適切な学校規模が必要である。	
地域とのかかわりに関して	地域との連携を可能とし、その教育力を生かすことができる学校規模が望ましい。	
2) 小学校における適正な学校規模		
【数値的なまとめ】	全校で18～24学級の学校規模が適正であり、少なくとも12学級以上の規模が必要であると考えられる。また、6学級以下の過小規模校については早期に改善が図られることが望まれる。	
3 中学校における適正な学校規模		④
1) 中学校における適正な学校規模の考え方		
子どもの教育環境に関して	一体感ある充実した集団活動を展開する上では、過小規模校(6学級以下)や過大規模校(25学級以上)は避けるべきである。	
学校の指導体制に関して	過小規模校では、5教科の各担当が3学年を通じて対応することになるので、過重な負担を避けることや、指導の充実のためにも改善が望まれる。	
新学習指導要領に関して	総合的な学習の時間及び選択教科に対応した教室の数と質が確保できる適切な学校の規模が必要である。	
地域とのかかわりに関して	地域との連携を可能とし、地域の教育力を生かすことができる適切な学校規模が望ましい。	
2) 中学校における適正な学校規模		
【数値的なまとめ】	適正規模は全校で12～24学級の範囲と考えられるが、引き続き検討を行う必要がある。	

学校の適正配置	
1 学校配置のあり方	
1) 学校適正配置の視点	
通学区域からの視点	適正な学校規模の確保を前提とした、望ましい通学区域についての考え方を構築する必要がある。子どもたちの生活や地域とのつながりなどを考慮する必要がある。
学校と地域の関係からの視点	学校の適正配置を契機として、学校と地域とのより一層望ましい関係を検討していく必要がある。
2) 学校適正配置を検討すべき地域	
	札幌市内では、人口空洞化の進む都心部 人口の減少傾向が見られる郊外部の旧宅地造成地区 市街化区域の縁辺部(山間部等)などに、学校の適正規模を検討すべき地域が見受けられる。特に、12学級を大きく下回る学校が隣接し、また老朽化が著しい学校を含む都心部については、速やかに学校の適正規模化を行う必要がある。
3) 学校適正配置の方法	
	通学区域の変更、統廃合が考えられる。通学区域の弾力的運用を行い特認校化を行うことは困難である。 特色ある教育活動を行うことはすべての学校で可能であるので、単に特色があるという視点のみで小規模校を特認校化することは困難である。
(2) 通学区域の考え方	
1) 基本的な考え方	
検討の方向性	通学区域の持つ意味を十分考慮するとともに、学校と地域のかかわりなど、より広い視点から通学区域を検討する。
通学区域のとらえ方	子どもたちの交友関係や遊び場など、生活の大半は通学区域にある。また、通学区域は、設定以来、地域の基盤となってきたことを念頭に置く。
2) 通学区域設定の課題	
通学距離	市内通学距離は全般的に短い。適正規模化を図る場合、通学上の安全性には十分な配慮が必要。
主要幹線道路	地域ごと状況が異なるが、適正な学校規模の確保を前提とし、主要幹線道路という理由のみによる校区の分断を避ける配慮が望まれる。
行政区界	適正な学校規模が確保される範囲で行政区界と一致した通学区域を設定する配慮が望まれる。
町内会区域との整合性	適正な学校規模を確保した上で、町内会区域との整合性を持った通学区域を設定することが望まれる。
中学校区との関係	中学校の適正配置を進める場合は、小学校区との整合性についても配慮することが望ましいと考えられる。
通学路・子どもの生活領域との関係	適正配置において通学区域を設定する際には、具体的な通学路を想定しつつ検討することが望ましい。
市街化区域縁辺部(山間部等)について	適正な通学距離を上回る恐れもあり、適正配置は困難であると考えられる。
3) 通学距離(時間)延長に伴う課題	
通学距離延長への対応策	文部省の示す通学距離(4km以内)を超える場合には、スクールバスの導入についても選択肢の一つとして検討する必要がある。
安全性の確保	交通安全施設の整備や交通安全指導などの対策を重視する必要がある。
(3) 学校と地域の考え方	
1) 基本的な考え方	
地域の教育力の維持・向上	地域の教育力の維持・向上とともに、学校と地域との連携・協力を一層強める必要があると考えられる。
地域の拠点としての学校の役割	地域における生涯学習意欲の高まりや、防災に対する関心の高まりに対しても、学校の果たすべき役割は大きいと考えられる。
2) 学校と地域との連携	
地域と子どもたち	子どもたちの多様な交流や経験の機会が限られている状況は、豊かな人間性の醸成や人格形成の面で問題があると考えられていることから、改善が望まれる。
地域の教育力	多様な人々と交流する機会を積極的に創出し、地域の教育力を醸成していく必要がある。
学校と地域との連携に向けて	学校は開かれた学校づくりを目指し相互の理解が深まるよう努力することが望まれる。学校を活用したコミュニティの維持についても検討していく必要があるといえる。
3) 学校と地域との連携を強める具体的方策	
学校と地域の人々との連携	地域の人々による学校支援ボランティア、学校施設を利用した生涯学習、複合化された学校施設での活動、地域の人々が利用しやすい校内環境の整備、学校教育に対する地域の人々の理解
地域における子どもたち	学外における学習と地域の人々による指導、社会体験学習の場の積極的な提供、子どもたちの地域清掃活動・福祉活動等、通学路における防犯を支援する地域の仕組み